

平成23年2月  
文部科学省初等中等教育局児童生徒課

## キャリア教育に関する調査 調査票本紙

- ※  ドロップダウンリストの中から選択をしてください。
- ※  直接記入してください。
- ※ 特段の定めがない限り、平成22年度に実施した内容等についてご回答ください。
- ※ 高等学校において、全日制普通科以外の課程、学科が併置されている場合は、全日制普通科の活動についてのみご回答ください。
- ※ 調査票の黄色もしくは青色のセルにのみ入力をしてください。黄色もしくは青色以外のセルは保護されていますので、保護を解除して入力することは絶対に行わないでください。
- ※ 行・列の挿入、削除等も絶対に行わないでください。
- ※ ご不明な点は、本調査票送付元である教育委員会の担当者の方を通し、都道府県教委を通して、文部科学省へご相談ください。
- ※ 質問No.111から順にご回答ください。
- ※ 回答に過不足があったり、間違った回答方法をしていると、J列にエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージが表示されていないことをご確認の上、送付してください。

学校種   
 学校名  (例：〇〇市立△△中学校)

No.111	キャリア教育の推進のために、平成22年度、下記の選択肢にあげるものの中で校内で実施した(実施予定を含む)ものを <u>すべて選び</u> 、選択肢No.の左側セルに○を記入してください。	
1	1	文部科学省や国立教育政策研究所、都道府県(市区町村)教育委員会等がまとめたキャリア教育についての資料またその概要の配付(No.121へ進んでください。)
2	2	キャリア教育についての教職員を対象とした校内研修会の実施(No.112を回答の後、No.121へ進んでください。)
3	3	キャリア教育の全体計画の作成(No.121へ進んでください。)
4	4	キャリア教育の年間指導計画の作成(No.121へ進んでください。)
5	5	キャリア教育に関する校内組織の設置(平成21年度以前に設置し現存している場合も含む)(No.121へ進んでください。)
No.112	No.111において2を選んだ場合、その校内研修会の内容について当てはまるものを <u>すべて選び</u> 、選択肢No.の左側セルに○を記入してください。	
1	1	キャリア教育の基本概念について教職員の共通理解を図るための研修
2	2	職場体験、インターンシップ等の校外における体験的な学習の在り方に関する研修
3	3	キャリア教育の推進・充実のための学校外部との連携や協力の在り方に関する研修
4	4	キャリア教育の視点からの授業の在り方に関する研修(研修会形式、授業研究、公開授業等)
5	5	キャリアカウンセリング等、キャリア教育の視点に立って行う個人面談・個別指導の在り方に関する研修

No.121	平成22年度におけるキャリア教育推進のための校内体制について、当てはまるものを <b>1つ選び</b> 、選択肢No.の左側セルに○を記入してください。	
	1	キャリア教育推進に特化して設置した「キャリア教育推進部」等を校務分掌上に位置づけている。(No.122を回答の後、No.211へ進んでください。)
	2	選択肢No.1以外の進路指導部、生徒指導部等などの分掌がキャリア教育を担当している。(No.122を回答の後、No.211へ進んでください。)
	3	分掌としての組織はないが、キャリア教育推進のための委員会等を組織している。(例:副校長、教頭、学年主任、関係分掌主任等で構成される委員会等)(No.122/123を回答の後、No.211へ進んでください。)
	4	分掌、委員会等の組織はないが、特定のポストに就いたものが主に担当している。(No.122/123を回答の後、No.211へ進んでください。)
	5	分掌、委員会等の組織はないが、特定の個人が担当している。(No.122を回答の後、No.211へ進んでください。)
	6	学年が主体となって企画立案等にあたっている。(No.122を回答の後、No.211へ進んでください。)
	7	特に定めていない。(No.211へ進んでください。)

No.122	No.121において <b>1～6を選んだ場合</b> 、その担当者(本務者)の人数について当てはまるものを <b>1つ選び</b> 、選択肢No.の左側セルに○を記入してください。	
	1	1人
	2	2人
	3	3人
	4	4人以上

(※上記の人数の中には、非常勤講師は含みません。)

No.123	No.121において <b>3もしくは4を選んだ場合</b> 、委員会等のメンバーや主として担当する者の職位について、次のうちから当てはまるものを <b>すべて選び</b> 、選択肢No.の左側セルに○を記入してください。	
	1	校長
	2	副校長、教頭
	3	主幹教諭
	4	教務主任
	5	進路指導主事
	6	生徒指導主事
	7	研究主任
	8	教育相談担当者
	9	学年主任
	10	その他教職員(下に具体的に記入)

No.211	平成22年度中に職場訪問や職場見学を実施しましたか。次のうちから当てはまるものを <b>1つ選び</b> 、選択肢No.の左側セルに○を記入してください。	
	1	実施した。(No.212～No.215を回答の後、No.221へ進んでください。)
	2	実施していない。(No.221へ進んでください。)

(※職場体験活動やインターンシップについては、No.220番台でお尋ねします。  
ここでは、職場体験活動やインターンシップ等体験活動を伴うものを除く、職場訪問や職場見学についてご回答ください。)

No.212	<b>No.211において1を選んだ場合</b> 、平成22年度中に行った職場訪問や職場見学について、主に相手方の職場、企業等との交渉、連絡、調整を行うのは誰ですか。次のうちから当てはまるものを <b>1つ選び</b> 、選択肢No.の左側セルに○を記入してください。	
	1	「キャリア教育推進部」等、キャリア教育推進に特化して校務分掌上に位置づけられた部署に配置されている担当者
	2	選択肢No.1以外の進路指導部、生徒指導部などの校務分掌に配置されている担当者
	3	分掌として組織されていないキャリア教育のための委員会等に配置されている担当者
	4	職場訪問や職場見学を行う学年の担当者
	5	特定のポストに就いた者(校長、副校長、教頭等)
	6	教職員の中の特定の個人
	7	児童・生徒
	8	その他教職員

N.213	<b>No.211において1を選んだ場合</b> 、平成22年度中に行った職場訪問や職場見学について、主に何年生の児童生徒を対象に実施しているか、当てはまるものを <b>すべて選び</b> 、選択肢No.の左側セルに○を記入してください。	
	1	1年生(中等教育学校後期課程4年生を含む)
	2	2年生(中等教育学校後期課程5年生を含む)
	3	3年生(中等教育学校後期課程6年生を含む)
	4	4年生
	5	5年生
	6	6年生

No.214	<b>No.211において1を選んだ場合</b> 、平成22年度中に行った職場訪問や職場見学について、事前に行っている指導内容として当てはまるものを <b>すべて選び</b> 、選択肢No.の左側セルに○を記入してください。	
	1	マナー研修(礼儀作法や挨拶の方法の指導)
	2	緊急連絡先の確認等
	3	児童生徒が、訪問する事業所等に事前に連絡を入れる場合の電話のかけ方や話し方についての指導
	4	訪問先についての調べ学習
	5	キャリア教育の視点から見た職場訪問や職場見学における目的やねらいに関する学級や学年での全体指導
	6	キャリア教育の視点から見た職場訪問や職場見学における目的やねらい、学びたいことに関するグループでの話し合い活動
	7	キャリア教育の視点から見た職場訪問や職場見学における目的やねらい、学びたいことに関する個人面談・個別指導
	8	キャリア教育の一環としての職場訪問や職場見学と教科の学習内容とを結びつけた指導
	9	その他(下に具体的に記入)
	10	特にしていない

No.215	<b>No.211において1を選んだ場合</b> 、平成22年度中に行った職場訪問や職場見学について、事後に行っている指導内容として当てはまるものを <b>すべて選び</b> 、選択肢No.の左側セルに○を記入してください。	
	1	礼状等の作成
	2	報告書、レポート等の作成
	3	学級、学年又は全校を単位として校内の児童生徒や教職員を対象に発表会を実施
	4	学級、学年又は全校を単位として学校外の関係者も含め発表会を実施
	5	キャリア教育の視点から見た職場訪問や職場見学における目的やねらいが達成できたかどうかについての学級や学年での全体指導
	6	キャリア教育の視点から見た職場訪問や職場見学における目的やねらい、学びたいことが達成できたかどうかについてのグループでの話し合い活動
	7	キャリア教育の視点から見た職場訪問や職場見学における目的やねらい、学びたいことが達成できたかどうかについての個人面談・個別指導
	8	キャリア教育の一環としての職場訪問や職場見学を通して学んだことと教科の学習内容を結びつけた指導
	9	その他(下に具体的に記入)
	10	特にしていない

No.221	平成22年度中に事業所等における職場体験活動やインターンシップを実施しましたか。次のうちから当てはまるものを <b>1つ選び</b> 、選択肢No.の左側セルに○を記入してください。	
	1	実施した。(No.222～No.226を回答の後、No.311へ進んでください。)
○	2	実施していない。(No.227を回答の後、No.311へ進んでください。)

No.222	<b>No.221において1を選んだ場合</b> 、平成22年度中に行った事業所等における職場体験活動やインターンシップについて、主に相手方の職場、企業等との交渉、連絡、調整を行うのは誰ですか。次のうちから当てはまるものを <b>1つ選び</b> 、選択肢No.の左側セルに○を記入してください。	
	1	「キャリア教育推進部」等、キャリア教育推進に特化して校務分掌上に位置づけられた部署に配置されている担当者
	2	選択肢No.1以外の進路指導部、生徒指導部などの校務分掌に配置されている担当者
	3	分掌として組織されていないキャリア教育のための委員会等に配置されている担当者
	4	職場体験活動やインターンシップを行う学年の担当者
	5	特定のポストに就いた者(校長、副校長、教頭等)
	6	教職員の中の特定の個人
	7	児童・生徒
	8	その他教職員

No.223	<b>No.221において1を選んだ場合</b> 、平成22年度中に行った事業所等における職場体験活動やインターンシップについて、主に何年生の児童生徒を対象に実施しているか、当てはまるものを <b>すべて選び</b> 、選択肢No.の左側セルに○を記入してください。	
	1	1年生(中等教育学校後期課程4年生を含む)
	2	2年生(中等教育学校後期課程5年生を含む)
	3	3年生(中等教育学校後期課程6年生を含む)
	4	4年生
	5	5年生
	6	6年生

No.224	<b>No.221において1を選んだ場合</b> 、平成22年度中に行った事業所等における職場体験活動やインターンシップについて、事前に行っている指導内容として当てはまるものを <b>すべて選び</b> 、選択肢No.の左側セルに○を記入してください。	
	1	マナー研修(礼儀作法や挨拶の方法の指導)
	2	緊急連絡先の確認等
	3	児童生徒が、訪問する事業所等に事前に連絡を入れる場合の電話のかけ方や話し方についての指導
	4	訪問先についての調べ学習
	5	キャリア教育の視点から見た職場体験活動やインターンシップにおける目的やねらいに関する学級や学年での全体指導
	6	キャリア教育の視点から見た職場体験活動やインターンシップにおける目的やねらい、学びたいことに関するグループでの話し合い活動
	7	キャリア教育の視点から見た職場体験活動やインターンシップにおける目的やねらい、学びたいことに関する個人面談・個別指導
	8	キャリア教育の一環としての職場体験活動やインターンシップと教科の学習内容とを結びつけた指導
	9	その他(下に具体的に記入)
	10	特にしていない

No.225	<b>No.221において1を選んだ場合、平成22年度中に行った事業所等における職場体験活動やインターンシップについて、事後に行っている指導内容として当てはまるものをすべて選び、選択肢No.の左側セルに○を記入してください。</b>	
	1	礼状等の作成
	2	報告書、レポート等の作成
	3	学級、学年又は全校を単位として校内の児童生徒や教職員を対象に発表会を実施
	4	学級、学年又は全校を単位として学校外の関係者も含め発表会を実施
	5	キャリア教育の視点から見た職場体験活動やインターンシップにおける目的やねらいが達成できたかどうかについての学級や学年での全体指導
	6	キャリア教育の視点から見た職場体験活動やインターンシップにおける目的やねらい、学びたいことが達成できたかどうかについてのグループでの話し合い活動
	7	キャリア教育の視点から見た職場体験活動やインターンシップにおける目的やねらい、学びたいことが達成できたかどうかについての個人面談・個別指導
	8	キャリア教育の一環としての職場体験活動やインターンシップを通して学んだことと教科の学習内容とを結びつけた指導
	9	その他(下に具体的に記入)
	10	特にしていない

No.226	<b>No.221において1を選んだ場合、事業所等における職場体験活動やインターンシップを実施していくにあたっての課題について当てはまるものを最大5つまで選び、選択肢No.の左側セルに○を記入してください。</b>	
	1	予算が十分に確保できない。
	2	事業所等に支援を依頼する際、どこに問い合わせをしたら良いか、分からない。
	3	事業所等に支援を依頼しても、断られてしまう。
	4	学校の周辺に事業所等が少ない(ない)。
	5	児童生徒が希望する職種にあった事業所等を確保したいが、学校の周辺にその職種にあった事業所等がない。
	6	昨今の経済環境の下、以前支援をしてくれていた事業所等が、支援をしてくれなくなってしまう等、景気の変動により、支援してくれるかどうかの予想がつかない。
	7	事業所等に支援依頼をして回るための時間がない。
	8	職場体験活動やインターンシップを教育活動として効果的に実施するためのノウハウがない。
	9	職場体験活動やインターンシップを教育活動として効果的に実施するための機会(研修等)が少ない(ない)。
	10	職場体験活動やインターンシップに当てる日数を増やしたい(維持したい)が、カリキュラムの関係で、日数を増やす(維持する)ことが出来ない。
	11	現在は、職場体験活動やインターンシップを長期休業期間中に実施しており、それを休業日以外の時間を使い実施したいが、カリキュラムの関係で、時間を設定することが出来ない。
	12	支援してくれる事業所等と打合せの時間をもちたいが、時間がない(時間が合わない)。
	13	支援してくれる事業所等と職場体験活動やインターンシップの目的やねらいについて、十分な共有化が出来ていない。
	14	職場体験活動やインターンシップは参加者が希望者制になっているが、なかなか体験を希望する児童生徒が集まらない。
	15	職場体験活動やインターンシップについて、更なる充実に向けた教職員の気運が高まっていない。
	16	毎年、担当学年が事業所等の開拓を行っており、学校としての実施体制が整っていない。
	17	毎年恒例の行事として実施しており、特段の見直しや改善が図られていない。
	18	学校と事業所等とを仲介・調整するコーディネーターがいない。
	19	教育委員会の支援体制が整っていない。
	20	その他(下に具体的に記入)
	21	特になし

No.227	<b>No.221において2を選んだ場合、事業所等における職場体験活動やインターンシップを実施していない理由について、当てはまるものを最大5つまで選び、選択肢No.の左側に○を記入してください。</b>	
	1	特段必要性を感じない。
	2	予算が十分に確保できない。
	3	事業所等に支援を依頼する際、どこに問い合わせをしたら良いか、分からない。
	4	事業所等に支援を依頼しても、断られてしまう。
	5	学校の周辺に事業所等が少ない(ない)。
	6	昨今の経済環境の下、以前支援をしてくれていた事業所等や商店会等が、協力をしてくれなくなってしまい(無くなってしまい)、実施できなくなった。
	7	事業所等に協力依頼をして回るための時間がない。
	8	職場体験活動やインターンシップを教育活動として効果的に実施するためのノウハウがない。
	9	職場体験活動やインターンシップを教育活動として効果的に実施するための機会(研修等)が少ない(ない)。
	10	職場体験活動やインターンシップに当てる時間(日数)を設定したいが、カリキュラムの関係で、時間(日数)を増やす(設定する)ことが出来ない。
	11	職場体験活動やインターンシップは希望者制で実施しようと考えているが(以前は実施していたが)、参加希望者が集まらないため実施していない。
	12	職場体験活動やインターンシップについて、実施に向けた教職員の気運が高まっていない。
	13	学校と事業所等を仲介・調整するコーディネーターがいない。
	14	教育委員会の支援体制が整っていない。
	15	その他(下に具体的に記入)
	16	特にない



No.311	平成22年度中にキャリア教育の一環として講演会や講話を実施しましたか。次のうちから当てはまるものを <b>1つ選び</b> 、選択肢No.の左側セルに○を記入してください。	
	1	実施した。(No.312～No.315を回答の後、No.321へ進んでください。)
	2	実施していない。(No.321へ進んでください。)

No.312	<b>No.311において1を選んだ場合</b> 、平成22年度中に行った講演会、講話について、主に相手方の職場、企業等との交渉、連絡、調整を行うのは誰ですか。次のうちから当てはまるものを <b>1つ選び</b> 、選択肢No.の左側セルに○を記入してください。	
	1	「キャリア教育推進部」等、キャリア教育推進に特化して校務分掌上に位置づけられた部署に配置されている担当者
	2	選択肢No.1以外の進路指導部、生徒指導部などの校務分掌に配置されている担当者
	3	分掌として組織されていないキャリア教育のための委員会等に配置されている担当者
	4	講演会や講話を行う学年の担当者
	5	特定のポストに就いた者(校長、副校長、教頭等)
	6	教職員の中の特定の個人
	7	児童・生徒
	8	その他教職員

No.313	<b>No.311において1を選んだ場合</b> 、平成22年度中に行った講演会、講話について、主に何年生の児童生徒を対象に実施しているか、当てはまるものを <b>すべて選び</b> 、選択肢No.の左側セルに○を記入してください。	
	1	1年生(中等教育学校後期課程4年生を含む)
	2	2年生(中等教育学校後期課程5年生を含む)
	3	3年生(中等教育学校後期課程6年生を含む)
	4	4年生
	5	5年生
	6	6年生

No.314	<b>No.311において1を選んだ場合</b> 、平成22年度中に行った講演会、講話について、事前に行っている指導内容として当てはまるものを <b>すべて選び</b> 、選択肢No.の左側セルに○を記入してください。	
	1	マナー研修(礼儀作法や挨拶の方法の指導)
	2	児童生徒が、来校する講演者に事前に連絡を入れる場合の電話のかけ方や話し方についての指導
	3	来校が決定した講演者やその講演内容についての調べ学習
	4	キャリア教育の視点から見た講演会や講話における目的やねらいに関する学級や学年での全体指導
	5	キャリア教育の視点から見た講演会や講話における目的やねらい、学びたいことに関するグループでの話し合い活動
	6	キャリア教育の視点から見た講演会や講話における目的やねらい、学びたいことに関する個人面談・個別指導
	7	キャリア教育の一環としての講演会や講話と教科の学習内容とを結びつけた指導
	8	その他(下に具体的に記入)
	9	特にしていない

No.315	<b>No.311において1を選んだ場合</b> 、平成22年度中に行った講演会、講話について、事後に行っている指導内容として当てはまるものを <b>すべて選び</b> 、選択肢No.の左側セルに○を記入してください。	
	1	感想文、意見文等の作成
	2	学級、学年又は全校を単位として校内の見童生徒や教職員を対象に発表会を実施
	3	学級、学年又は全校を単位として学校外の関係者も含め発表会を実施
	4	キャリア教育の視点から見た講演会や講話における目的やねらいが達成できたかどうかについての学級や学年での全体指導
	5	キャリア教育の視点から見た講演会や講話における目的やねらい、学びたいことが達成できたかどうかについてのグループでの話し合い活動
	6	キャリア教育の視点から見た講演会や講話における目的やねらい、学びたいことが達成できたかどうかについての個人面談・個別指導
	7	キャリア教育の一環としての講演会や講話を通して学んだことと教科の学習内容とを結びつけた指導
	8	その他(下に具体的に記入)
	9	特にしていない

No.321	体験的な活動の場面や講演会、講話以外に教科等における学習内容の理解を深めたり、社会とのつながりを意識させたりする等のために、学校外部の教育資源を活用したことはありますか。次のうちから当てはまるものを <b>1つ選び</b> 、選択肢No.の左側セルに○を記入してください。	
	1	活用している(平成22年度内に一度でも活用したことがある場合を含む)。 (No.322～No.324を回答の後、No.331へ進んでください。)
	2	活用していない。(No.325を回答の後、No.331へ進んでください。)

No.322	<b>No.321において1を選んだ場合</b> 、どのような人材を活用・協働(以下、活用とする。)していますか(しましたか)。次のうちから当てはまるものを <b>すべて選び</b> 、選択肢No.の左側セルに○を記入してください。(※1)	
	1	児童生徒の保護者
	2	商店会、青年会議所等の職員
	3	商工会議所、商工会、中小企業団体中央会等の職員
	4	NPO法人、任意団体等の人材
	5	産業界(企業等)の人材
	6	ハローワークの職員
	7	地域若者サポートステーションの職員
	8	ジョブカフェの職員
	9	就職支援員(※2)・就職補助員
	10	キャリア・コンサルタント(※3)
	11	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー
	12	学識経験者(大学教授や准教授等)
	13	医師、看護師、弁護士、公認会計士、税理士などの専門職の人材
	14	教育委員会の職員
	15	上級学校の生徒、学生
	16	その他(下に具体的に記入)

- (※1活用している人材が、上記選択肢の中の複数の立場にある場合、その人材をどの立場で活用したかという視点で、1つだけ選んで下さい。)
- (※2上記設問における就職支援員には、ジョブサポートティーチャーは含みません。)
- (※3上記設問における「キャリア・コンサルタント」とは、厚生労働省の認可を受けて養成講座と認定試験を行っている団体が付与する「キャリア・コンサルタント」資格を持つ人材のことを指します。)

No.323	<b>No.321において1を選んだ場合、どの教科等の授業で活用していますか(しましたか)。</b> 次のうちから当てはまるものを <b>すべて選び</b> 、選択肢No.の左側セルに○を記入してください。	
	1	国語
	2	社会／地理歴史／公民
	3	算数／数学
	4	理科
	5	生活
	6	音楽
	7	図画・工作／美術
	8	芸術
	9	家庭／技術・家庭
	10	体育／保健体育
	11	外国語活動／外国語
	12	情報
	13	道徳の時間
	14	総合的な学習の時間
	15	特別活動
	16	その他(下に具体的に記入)

No.324	<b>No.321において1を選んだ場合、学校外部の教育資源を活用した教科指導を実施していくにあたっての課題について</b> 当てはまるものを <b>最大5つまで選び</b> 、選択肢No.の左側セルに○を記入してください。	
	1	予算が十分に確保できない。
	2	学校外部の人材に支援を依頼する際、どこに問い合わせをしたら良いか、分からない。
	3	学校外部の人材に支援を依頼しても、断られてしまう。
	4	学校の周辺に支援を依頼する人材が少ない(ない)。
	5	どのような支援を得られるのか、詳しい情報がない。
	6	提供される支援の内容が学校のニーズと合致しない。
	7	提供される支援の内容が学校外部の人材により決定され、教員が主体的にかかわることが出来ていない。
	8	提供される支援とのタイミングが合わない。(既に年度の計画は決まってしまう、等。)
	9	学校外部の人材に支援依頼をするための時間がない。
	10	学校外部の教育資源を活用した教科指導を効果的に実施するためのノウハウがない。
	11	学校外部の教育資源を活用した教科指導を効果的に実施するための機会(研修等)が少ない(ない)。
	12	学校外部の教育資源を活用した教科指導に当てる時間を増やしたい(維持したい)が、カリキュラムの関係で、時間を増やす(維持する)ことが出来ない。
	13	支援してくれる人材と打合せの時間をもちたいが、時間がない(時間が合わない)。
	14	支援してくれる人材とその教科指導の目的やねらいについて、十分な共有化が出来ていない。
	15	毎年恒例の行事として実施しており、特段の見直しや改善が図られていない。
	16	学校と学校外部の人材とを仲介・調整するコーディネーターがいない。
	17	教育委員会の支援体制が整っていない。
	18	その他(下に具体的に記入)
	19	特になし

No.325	<b>No.321において2を選んだ場合、学校外部の教育資源を活用した教科指導を実施してない理由について、当てはまるものを最大5つまで選び、選択肢No.の左側セルに○を記入してください。</b>	
	1	特段必要性を感じない。
	2	予算が十分に確保できない。
	3	学校外部の人材に支援を依頼する際、どこに問い合わせをしたら良いか、分からない。
	4	学校外部の人材に支援を依頼しても、断られてしまう。
	5	学校の周辺に支援を依頼する人材が少ない(ない)。
	6	どのような支援を得られるのか、詳しい情報がない。
	7	提供される支援の内容が学校のニーズと合致しない。
	8	提供される支援とのタイミングが合わない。(既に年度の計画は決まってしまう、等。)
	9	学校外部の人材に支援依頼をするための時間がない。
	10	学校外部の教育資源を活用した教科指導を効果的に実施するためのノウハウがない。
	11	学校外部の教育資源を活用した教科指導を効果的に実施するための機会(研修等)が少ない(ない)。
	12	学校外部の教育資源を活用した教科指導に当てる時間を設定したいが、カリキュラムの関係で、時間を設定することが出来ない。
	13	学校と学校外部の人材とを仲介・調整するコーディネーターがいない。
	14	教育委員会の支援体制が整っていない。
	15	その他(下に具体的に記入)
	16	特になし

No.331	<b>学校外部の教育資源を、進路・適性に関する個人面談・個別指導等に活用したことがありますか。次のうちから当てはまるものを1つ選び、選択肢No.の左側セルに○を記入してください。</b>	
	1	活用している(平成22年度内に一度でも活用したことがある場合を含む)。 (No.332を回答の後、No.411へ進んでください。)
	2	活用していない。(No.333を回答の後、No.411へ進んでください。)

No.332	<b>No.331において1を選んだ場合、どのような人材を活用していますか(していましたか)。次のうちから当てはまるものをすべて選び、選択肢No.の左側セルに○を記入してください。(※1)</b>	
	1	児童生徒の保護者
	2	商店会、青年会議所等の職員
	3	商工会議所、商工会、中小企業団体中央会等の職員
	4	NPO法人、任意団体等の人材
	5	産業界(企業等)の人材
	6	ハローワークの職員
	7	地域若者サポートステーションの職員
	8	ジョブカフェの職員
	9	就職支援員(※2)・就職補助員
	10	キャリア・コンサルタント(※3)
	11	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー
	12	学識経験者(大学教授や准教授等)
	13	医師、看護師、弁護士、公認会計士、税理士などの専門職の人材
	14	教育委員会の職員
	15	上級学校の生徒、学生
	16	その他(下に具体的に記入)

(※1活用している人材が、上記選択肢の中の複数の立場にある場合、その人材をどの立場で活用したかという視点で、1つだけ選んで下さい。

(※2上記設問における就職支援員には、ジョブサポートティーチャーは含みません。)

(※3上記設問における「キャリア・コンサルタント」とは、厚生労働省の認可を受けて養成講座と認定試験を行っている団体が付与する「キャリア・コンサルタント」資格を持つ人材のことを指します。)

No.333	<b>No.331において2を選んだ場合、活用していない理由について、次のうちから当てはまるものをすべて選び、選択肢No.の左側セルに○を記入してください。</b>	
	1	その必要性を感じない
	2	活用したいが、適当な人材が見つからない
	3	活用したいが、予算措置できない
	4	その他(下に具体的に記入)

No.411	キャリア教育(特に職場体験活動やインターンシップ等の体験的な活動)を円滑に進めるために、協議会を組織する等、学校外の諸機関と連携した組織を設置していますか。次のうちから当てはまるものを <b>1つ選び</b> 、選択肢No.の左側セルに○を記入してください。	
	1	設置している(平成21年度以前に設置し現存している場合も含む) (No.412を回答の後、No.421へ進んでください。)
	2	設置していない (No.413を回答の後、No.421へ進んでください。)

No.412	<b>No.411において1を選んだ場合</b> 、その構成員について該当するものを <b>すべて選び</b> 、 <b>選択肢No.の左側セルに○を記入してください。(※1)</b>	
	1	児童生徒の保護者
	2	商店会、青年会議所等の職員
	3	商工会議所、商工会、中小企業団体中央会等の職員
	4	NPO法人、任意団体等の人材
	5	産業界(企業等)の人材
	6	ハローワークの職員
	7	地域若者サポートステーションの職員
	8	ジョブカフェの職員
	9	就職支援員(※2)・就職補助員
	10	キャリア・コンサルタント(※3)
	11	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー
	12	学識経験者(大学教授や准教授等)
	13	医師、看護師、弁護士、公認会計士、税理士などの専門職の人材
	14	教育委員会の職員
	15	上級学校の生徒、学生
	16	その他(下に具体的に記入)

(※1活用している人材が、上記選択肢の中の複数の立場にある場合、

その人材をどの立場で活用したかという視点で、1つだけ選んで下さい。

(※2上記設問における就職支援員には、ジョブサポートティーチャーは含みません。)

(※3上記設問における「キャリア・コンサルタント」とは、厚生労働省の認可を受けて養成講座と認定試験を行っている団体が付与する「キャリア・コンサルタント」資格を持つ人材のことを指します。)

No.413	<b>No.411において2を選んだ場合</b> 、設置しない理由について、次のうちから当てはまるものを <b>すべて選び</b> 、 <b>選択肢No.の左側セルに○を記入してください。</b>	
	1	その必要性を感じない
	2	設置したいが、適当な構成員が見つからない
	3	設置したいが、予算措置できない
	4	その他(下に具体的に記入)

No.421	キャリア教育を推進するにあたり、学校と学校外部の教育資源とをコーディネート(仲介・調整)する組織・人材を活用していますか。次のうちから当てはまるものを <b>1つ選び</b> 、選択肢No.の左側セルに○を記入してください。	
	1	活用している(平成21年度以前に設置し現存している場合も含む) (No.422を回答してください。)
	2	活用していない(No.424を回答してください。)

No.422	<b>No.421において1を選んだ場合</b> 、No.411で既出の「協議会」との関係や、その構成員の働きについて、次のうちから当てはまるものを <b>1つ選び</b> 、選択肢No.の左側セルに○を記入してください。	
	1	協議会自体が、学校と学校外部の教育資源とをコーディネート(仲介・調整)している。
	2	協議会の一部のメンバーが、学校と学校外部の教育資源とをコーディネート(仲介・調整)している。(No.423を回答してください。)
	3	協議会とは別に、学校と学校外部の教育資源とをコーディネート(仲介・調整)する組織・人材を活用している。(No.423を回答してください。)
	4	協議会は設置していないが、学校と学校外部の教育資源とをコーディネート(仲介・調整)する組織・人材を活用している。(No.423を回答してください。)

No.423	<b>No.422において2～4を選んだ場合</b> 、学校と学校外部の教育資源とのコーディネート(仲介・調整)を主に担っているのはどのような人材ですか。該当するものを <b>すべて選び</b> 、選択肢No.の左側セルに○を記入してください。(※1)	
	1	児童生徒の保護者
	2	商店会、青年会議所等の職員
	3	商工会議所、商工会、中小企業団体中央会等の職員
	4	NPO法人、任意団体等の人材
	5	産業界(企業等)の人材
	6	ハローワークの職員
	7	地域若者サポートステーションの職員
	8	ジョブカフェの職員
	9	就職支援員(※2)・就職補助員
	10	キャリア・コンサルタント(※3)
	11	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー
	12	学識経験者(大学教授や准教授等)
	13	医師、看護師、弁護士、公認会計士、税理士などの専門職の人材
	14	教育委員会の職員
	15	上級学校の生徒、学生
	16	その他(下に具体的に記入)

- (※1 活用している人材が、上記選択肢の中の複数の立場にある場合、その人材をどの立場で活用したかという視点で、1つだけ選んで下さい。  
(※2 上記設問における就職支援員には、ジョブサポートティーチャーは含みません。)  
(※3 上記設問における「キャリア・コンサルタント」とは、厚生労働省の認可を受けて養成講座と認定試験を行っている団体が付与する「キャリア・コンサルタント」資格を持つ人材のことを指します。)

No.424	<b>No.421において2を選んだ場合</b> 、活用していない理由について、次のうちから当てはまるものを <b>すべて選び</b> 、選択肢No.の左側セルに○を記入してください。	
	1	その必要性を感じない
	2	活用したいが、適当な組織・人材が見つからない
	3	活用したいが、予算措置できない
	4	その他(下に具体的に記入)

以上で調査は終了です。大変お疲れ様でした。ご協力いただき、誠に有り難うございました。  
本エクセルファイルのJ列に、エラーメッセージが表示されていないことをご確認の上、  
ご回答を送付してください。